



地域おこし 協力隊だより

第8回

おおたけ えりか
大竹 英理耶



3回目の寄稿になります。先日、茨城放送 Lucky FMさんの番組にて協力隊の活動を取材していただきました。普段は取材をする側なので、いざ受ける側に回ると、嬉しいながらも気恥ずかしさから戸惑いもあって、取材を受けてくださったり、イベントで登壇してくださる市民の皆さまに改めて感謝だな…とつくづく思います。

さて、これを書いているのが12月も半ばですので、一年を振り返っていました。協力隊・仕事・学業・主婦業…全部両立するぞー！と意気込んでいたのですが、正直、ままならないことばかりで、時間も気力も体力も有限であること、まざまざと思い知らされた一年でした。

それでも、インタビューを通じて、協力隊に限らず新しい活動が市内で起こっているのを感じて、私のままならない日々も、熾火に風を送る様なことには繋がっているのかもしれませんが。そうやって自分を励ましつつ、新年からも頑張ろうと思います。協力隊のyoutubeチャンネルにて、フューチャートーク第2回の記録を公開しておりますので、そちらもぜひご覧ください。

■協力隊 youtube チャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCnmpZUAtfreTg1cfmoz03Vw>



しもつまフューチャートーク第2回の様子

☎都市整備課 ☎45-8128 FAX 43-2945

表敬訪問 下妻中学校女子バレーボール部員が 県代表選抜選手として全国大会に出場

なかやま あかね
下妻中学校女子バレー部：中山愛海音さん

中山さんは、12月25日から大阪府で開催された JOC ジュニアオリンピックカップ「第35回全国都道府県対抗中学バレーボール大会」に茨城県選手団の選抜メンバーとして選出されました。ポジションはセッターで、中学校女子バレー部ではキャプテンとしてチームを引っ張ってききました。

出場の報告のため菊池市長と廣瀬市議会議長に面会した中山さんは「これまでのチームや家族の支えに感謝したいです。選ばれなかった選手の分も、大会で頑張りたい」と意気込みを語りました。



左から海野女子バレー部顧問、吉澤教頭、中山さん、菊池市長、廣瀬議長、横瀬教育長

白菜収穫・たき火体験を開催

ピアスパークしもつままでイベント 12月25日

「白菜収穫 & たき火体験」がピアスパークしもつま農園で開催されました。イベントは下妻地域ふるさと交流推進協議会が主催したもので、農園で栽培されている旬の白菜の収穫やたき火を囲んでの北欧式コーヒーの提供を行い、訪れたお客様に楽しんでもらおうという趣旨で行われたものです。

イベントは、新型コロナウイルス対策をとりながら行われ、当日は22人が参加してイベントを楽しみました。参加者は「日頃できない体験ができた」などと話していました。

なお、このイベントはCLST、下妻食と農を考える女性の会、(一社)下妻家守舎の協力で行われました。



白菜の収穫体験をする親子。大きい白菜が採れました。

近代五種競技次世代選手体験練習会・ レーザーピストル&フェンシング体験教室開催

12月25日～27日、公益社団法人日本近代五種協会が主催する練習会が開催され、全国から小学3年生から6年生の、将来のオリンピックとなりうる有力選手11人が参加しました。選手たちは、ピアスパークしもつまに宿泊しながら市内各施設で水泳・レーザーピストル・ランニング・フェンシングなどの練習を行いました(馬術は土浦市で実施)。練習会には、2012年ロンドン五輪に近代五種選手として出場し、本市観光大使でもある黒須(現姓・阪部)成美さんも参加し、選手たちを指導しました。

また、この練習会に伴い、26日には市内小学生を対象とした体験教室がWaiwaiドームしもつまで開催され、16人が参加しました。参加した児童たちは、レーザーピストルやフェンシングを体験し、黒須さんや東京五輪代表の島津(現姓・斎藤)玲奈さんたちの指導を受けながら競技を楽しみました。



体験教室の参加児童を指導する黒須さん

黒須成美さんインタビュー

■近代五種の魅力とは？

近代オリンピックの父ピエール・ド・クーベルタンにより創設されたこの競技は、1912年第5回ストックホルムオリンピックより始まる大変歴史ある競技であり、その歴史と競技の過酷さから「キング・オブ・スポーツ」と呼ばれています。1人の選手が1日に特性の異なる5種目(フェンシング、水泳、馬術、射撃、ランニング)を競い、最後ゴールテープを切るまで勝負の行方が分からないのが、近代五種の魅力です。

■これから競技を始めようとする人へ

私は小学生の頃からオリンピックへの憧れを抱き、当時通っていたスイミング(下妻スポーツクラブ)で週6日練習していました。本格的に近代五種へ転向したのは中学2年生の時ですが、7年の時を経てオリンピック出場という夢を叶えることができました。

5種目を行うことへの不安等あるとは思いますが、勇気を持って一歩踏み出せば人生が変わると思います。少しでもこの競技に興味を持っていただけたのであれば大変嬉しいです、始めたいという方がいらっしゃればいつでも近代五種協会へご連絡ください。

この下妻市からまた近代五種のオリンピックが誕生することを心より楽しみにしております。

いじめと人権について考える学校フォーラムを開催

下妻中学校 12月17日



飛鳥さんの講演を聞く生徒たち

この日行われたフォーラムでは、「いじめ防止標語」や生徒会による「いじめ撲滅宣言」、「少年の主張」の発表を行いました。その後開催された教育講演会では、NPO法人RAINBOW 茨城会長の飛鳥斗亜さんを講師に招き、「性的マイノリティに対する理解を深めよう」と題した講演会を行いました。同校後期生徒会長の小島未依菜さんは「多様性を認め合い、差別なく大きな輪を作っていけるよう、人と人とを繋ぐ役割を果たせる人になりたいと思います」と話しました。